

造影剤使用時の血清クレアチニン値ご記入のお願い

いつも画像診断検査（CT・MRI）のご依頼をいただき、ありがとうございます。
このたび、依頼書の様式を一部変更いたしました。

主な変更点として、血清クレアチニン値の記入欄をわかりやすい位置に移動いたしました。
造影検査のご依頼または造影お任せの場合には、血清クレアチニン値のご記入をお願い申し上げます。

今回の変更は「腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン 2012」および「腎障害患者におけるガドリニウム造影剤使用に関するガイドライン」がそれぞれ関連学会より発表され、造影剤の腎機能への影響がクローズアップされていることに対応したものです。

造影剤使用の適否は、血清クレアチニン値と年齢・性別による eGFR により、おおむね以下の基準で、当クリニック放射線科医が責任をもって判断させていただきます。またビグアナイド系薬剤内服や病態の深刻度も加味いたします。腎機能の悪化が懸念される患者様におきましては、造影検査を差し控えさせていただく場合がございますので、ご了承ください。

	造影可	ハイドレーションにより造影	造影不可
CT検査	eGFR > 60	60 > eGFR > 30	eGFR < 30
MR検査	eGFR > 30		eGFR < 30

これからも、患者様一人ひとりに安全で最適な検査を心がけてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

2012年6月

お茶の水駿河台クリニック
院長 中元和也

(参考)

GFR45以上の目安は、血清Cr値が60歳男性で1.3以下、女性で1.0以下ぐらいです。

eGFR自動計算サイト <http://lab-tky.umin.jp/link/eGFR.html>

ヨード造影剤ガイドライン http://www.jsn.or.jp/guideline/pdf/CIN_2012.pdf

ガドリニウム造影剤ガイドライン http://www.jsn.or.jp/jsn_new/news/guideline_nsf_090902.pdf